



+++
+++
+++

外国につながる市民の方へ
—こんなときはお問い合わせを！—

対面の教室に通えない

- 社会生活に役立つ
千葉市日本語学習プログラム



eラーニングとスクーリングで日本語が
学べます

自分に合う日本語学習を知りたい

- 日本語教育コーディネーター



あなたに適した教室や、日本語学習の
方法をアドバイスします
令和6年度は約350人が利用しました

好きな活動を通して交流したい

- 多文化ウェルカム団体



サークル活動やボランティア活動を
しながら地域住民と交流できる団体を
紹介します

千葉市の人口の4.0%(*1)は外国人市民で、年々割合が増えています。また日本国籍であっても日本語が母語ではない市民もいます。ここでは両者を含めて「外国につながる市民」と表記します。千葉市は、多文化共生のまちづくりをめざして、多文化共生推進アクションプランを策定しました(*2)。そして、多様な言語・文化の背景を持つ市民がことばを通じて理解しあうための環境づくりを目的として、地域日本語教育推進事業を実施しています。この事業では、外国につながる市民の日本語習得の場の充実、および社会の理解促進にさまざまな活動主体と連携して取り組んでいます。このリーフレットは令和6年度の事業成果をご報告するものです。

めざす姿

*1 令和6年12月末現在、千葉市データ
*2 令和5-7年度

「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通できるようになる
ことにより、社会生活および日常生活を円滑に営むことができる



(公財)千葉市国際交流協会

千葉市中央区中央3-3-1
フジモト第一生命ビルディング2階

043-306-1034

詳しくはホームページを
ご覧ください
<https://ccia-chiba.or.jp/>

千葉市国際交流協会



文部科学省
令和6年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

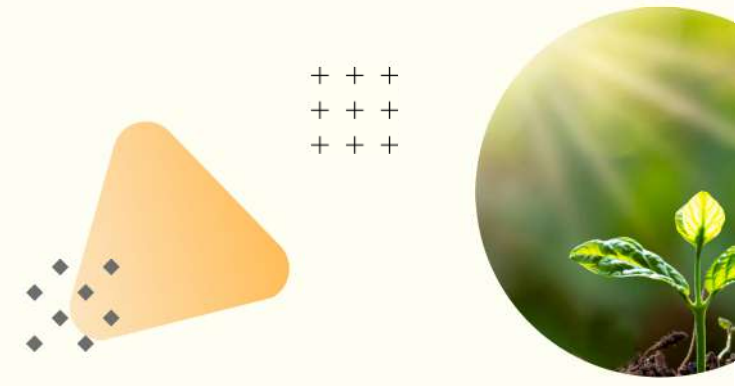
ことばをとおして、
ともにまなび、ともにくらすために

ちばし にほんご

令和 6 年度
千葉市地域日本語教育推進事業
成果報告

千葉市・(公財)千葉市国際交流協会

+++
+++
+++



外国につながる市民の 日本語習得の場の充実

まちの中では、ほとんどの情報のやりとりが日本語で行われています。外国につながる市民にとって、日本語で情報入手や意思疎通ができれば、より円滑な生活や個人の活躍が期待できます。日本語習得促進のために、事業では右図の6つの場の充実を図りました。

1 オンデマンド日本語学習プログラム

対面の教室には通えない・自分のペースで学びたい、というニーズに応えるため、eラーニングとスクーリングを組み合わせたプログラムの運用を始めました。

A1コース運用開始(11月～) 学習期間6ヶ月 参加者43人

生活上のテーマが扱われているので役立つ

ユニットの学習に関係の深い外部リンクで学ぶことができる



プログラム紹介

2 1対1日本語活動

日本語交流員と組み合わせをして、知り合いを増やすきっかけづくりをし、日本語による会話実践、対話・交流、生活情報獲得の場を提供しました。

活動期間 1ペア3ヶ月 参加者111人

3 地域日本語教室支援

千葉市内には、市民による自主運営の日本語教室が約25あり、外国につながる市民にとって、日本語学習や交流の身近な拠点となっています。団体の希望に応じた研修の実現を支援しました。

研修支援 3団体

講師のお話に励まされた

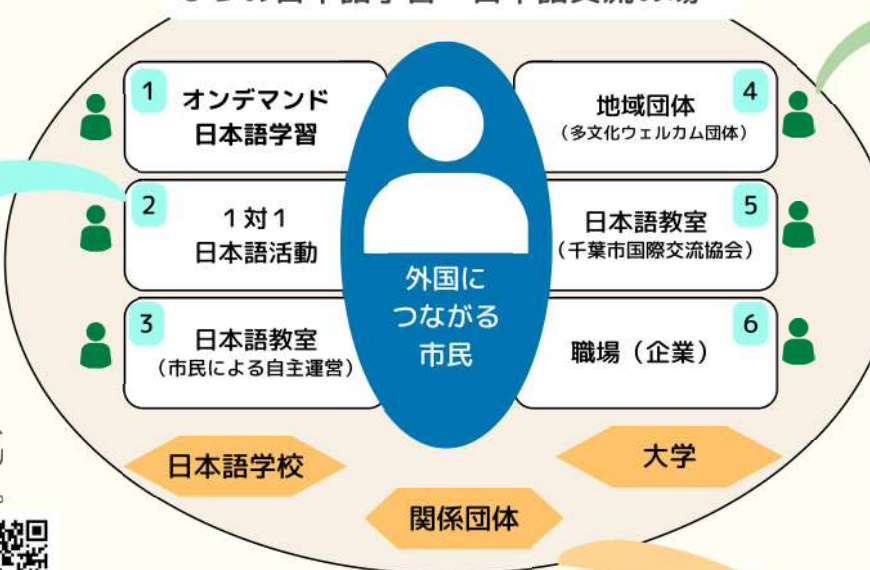
問題点を支援者間で共有できた

4 多文化ウェルカム団体登録紹介制度

千葉市には、サークルなど、興味関心が同じ方が集まる団体が多くあります。多様な文化・価値観を積極的に受け入れる団体を「多文化ウェルカム団体」と呼んでいます。千葉市国際交流協会ウェブサイトで紹介することによって外国につながる市民の地域参画のきっかけづくりをしました。個性や能力を活かしながら好きな活動で他のメンバーと交流することは、最も自然な日本語習得の道筋でもあります。

登録 9団体

6つの日本語学習・日本語交流の場

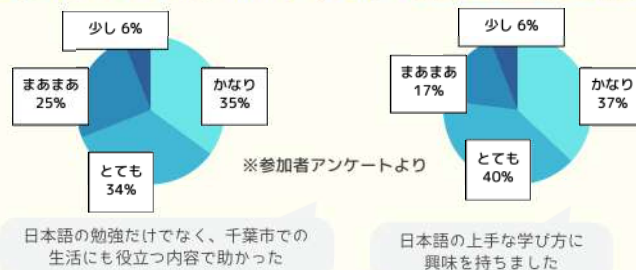


5 千葉市国際交流協会 日本語教室

主体的・協働的に学ぶ、モデルとしての日本語教室を実施しました。生活や仕事の場で周囲の人と関係を築くための自己表現、およびライフステージやニーズに合わせて生活に役立つ日本語を中心に学ぶカリキュラムを用いました。

初級1クラス 2時間×30回×2期
初級2クラス 2時間×30回×2期
グループ学習クラス 2時間×10回×6期 参加者計 357人

Q「日本語を使うことに自信がついた」 Q「日本語で話せることが増えた/増えそう」



6 企業向け日本語教育情報提供

企業からの日本語教育に関する相談に応じ、生活者向けのオンライン学習サイトの紹介や、日本人社員向け「伝わりやすい・やさしい日本語」研修の案内をしました。

交流や日本語習得支援の 担い手の育成

日本語交流つなげて講座

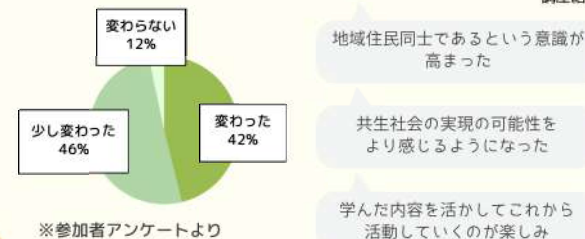
ことばや文化の壁を越えて、外国につながる市民を地域につなぐ仲介者を、「つなげて」と呼んでいます。つなげてを育成するための連続講座を実施しました。多文化共生やコミュニケーションについて、全5回で学んだ方たちが、左図の場で活躍しています。

2時間×5回×2期 参加者43人

Q講座に参加したことによって、地域在住の外国人等に対する意識や接し方が変わりました。



講座紹介



伝わりやすい、やさしい日本語研修

日本語に慣れていない人とよりよくコミュニケーションをとる方法について学ぶ研修を開催しました。

1回(1～2時間) 対面2件、オンライン2件

自分がわかりやすいと思っている言葉を改善する必要があると思った

相手にわかりやすい言葉選びは、すべての人に対して大切な姿勢だと思った

ネットワークづくり

日本語教育/日本語学習支援関係者 情報交換会

千葉市内の日本語教育/日本語学習支援の関係者による情報交換会を開催しました。連携に向けて、課題の共有や意見交換を行いました。

地域日本語教室、大学・日本語学校等 各1回

ほかの日本語学習の場の様子を知ることができて、たいへん励みになった

大学、専門学校、日本語学校が相互にコミュニケーションを取れる場としてよかった

実績の数字は、2月末現在